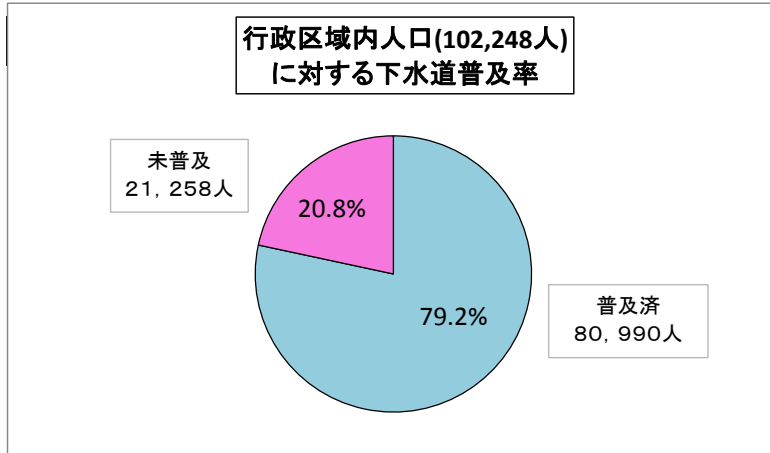


## 下水道事業特別会計の財政状況について

### ○下水道の普及率

平成31年4月1日現在、伊勢原市の下水道普及状況は次のようになっています。



### ○下水道事業特別会計決算

下水道事業は、一般会計とは別に特別会計として運営しています。(平成31年4月1日からは企業会計へ移行しました。)

これは、一般の歳入(市税等の収入)・歳出(支出)と下水道事業の歳入(使用料等の収入)・歳出(下水道の整備費等)とを区別するためです。

#### 【平成30年度 下水道事業特別会計決算総括表】

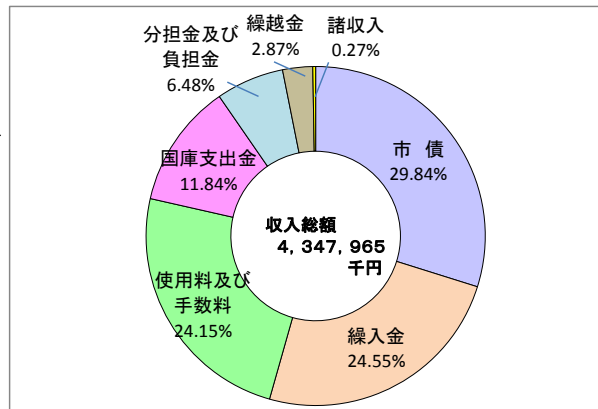
(単位:円)

予算現額	収入済額 A	支出済額 B	収支差引額 C(A-B)	翌年度へ繰越 D	実質収支額 E(C-D)
5,229,407,400	4,347,965,206	3,822,835,148	525,130,058	15,016,000	510,114,058

※実質収支額とは、歳入歳出の差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額で、その年の実質的な黒字・赤字を示すものです。

#### 【収入済額の内訳】

項目	金額(千円)
分担金及び負担金	281,732
使用料及び手数料	1,050,271
国庫支出金	514,750
繰入金	1,067,270
繰越金	124,615
諸収入	11,727
市債	1,297,600
合計	4,347,965

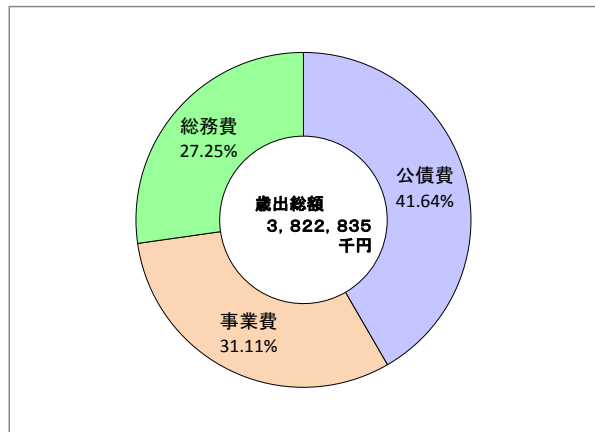
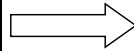


項目の内容	説明
分担金及び負担金	…受益者負担金や下水道を建設・維持管理するための他市から注1の負担金等
使用料及び手数料	…下水道使用料や指定工事店等登録手数料等
国庫支出金	…下水道建設費に対する国からの補助金
繰入金	…一般会計から特別会計へ繰り入れる資金
繰越金	…前年度からの繰越金
諸収入	…下水処理場の電気使用料等の雑入
市債	…政府資金等からの借入金

※注1 厚木市の下水の一部が伊勢原市の下水道管を通過しています。また、秦野市の下水の一部を伊勢原市の終末処理場で処理しています。そのため、下水道施設の建設・維持管理費について、下水量に応じた負担金が両市から支払われます。

【支出済額の内訳】

項目	金額(千円)
総務費	1,041,604
事業費	1,189,267
公債費	1,591,964
合計	3,822,835



(項目の内容)	総務費・・・職員の給与費、使用料の徴収事務費、下水道施設を維持管理するための経費等
	事業費・・・下水道管及び終末処理場を整備するための経費
	公債費・・・政府資金等からの借入金の返済金

○市債

(単位:千円)

平成29年度末残高	A	17,089,205
平成30年度借入額	B	1,297,600
平成30年度元金償還額	C	1,287,838
平成30年度末残高	D(A+B-C)	17,098,967

○経営指標

	計 算 式(数値は伊勢原市)	伊勢原市(30年度値) ※3	類似団体平均(29年度値) ※1	全国平均(29年度値) ※1
使用料単価	年間使用料収入 / 年間有収水量	124.51円	123.29円	138.12円
	1,049,305千円 / 8,427,731m <sup>3</sup>			
汚水処理原価	年間汚水処理費 / 年間有収水量	150.00円	131.41円	136.38円
	1,264,194千円 / 8,427,731m <sup>3</sup>			
経費回収率※2	年間使用料収入 / 年間汚水処理費	83.0%	93.8%	101.3%
	1,049,305千円 / 1,264,194千円			

※1 参考「総務省 平成29年度下水道事業経営指標・下水道使用料の概要(平成29年度決算数値)」より

※2 経費回収率とは、汚水処理に要した費用に対する使用料による回収程度を示すものです。下水道経営は、汚水処理費のすべてを使用料によってまかなうことが原則で、経費回収率が100%に近いほど適正な使用料収入となります。

※3 平成30年度は公営企業会計適用により、出納整理期間がないため、各種数値が例年と異なります。

# 伊勢原市公共下水道経営健全化計画達成状況の公表

## 取組に対する達成状況

### 1. 歳出に関する取組（上段：目標額、下段：実績額）

【取組①】 処理設備の自動化・省エネ化、維持管理資材の効率的使用による削減

平成30年度の取組実績

- ・省エネ遠心脱水機の運転方法の変更、最終沈澱池の樹脂化、下落合第1中継ポンプ場のPPS利用、中央監視操作の合理化、管理棟清掃委託の削減、活性炭の延命化による合理的使用、運転管理業務委託における技術経費の見直し、濃縮汚泥貯留槽攪拌機の間欠運転等について取り組みました。

【取組②】 下水道資材や発注形態の見直しによる施設整備費の削減による公債費の削減

平成30年度の取組実績

- ・管渠工事にて、コンクリートマンホールから部分的に塩ビマンホールを使用する取り組みを進めました。（46基使用し、建設費を△502万円削減しました。）

（単位：百万円）

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
①維持管理費の削減	目標額	2.0	23.2	23.9	23.9	23.9	23.9	23.9	27.3	27.3	27.3	226.6
	実績額	1.4	35.0	36.5								
②施設整備費の削減	目標額	0.8	1.0	1.0	1.0	4.8	5.8	7.0	8.0	8.3	8.6	46.3
	実績額	0.8	0.9	0.9								
計	目標額	2.8	24.2	24.9	24.9	28.7	29.7	30.9	35.3	35.6	35.9	272.9
	実績額	2.2	35.9	37.4								

### 2. 歳入に関する取組（上段：目標額、下段：実績額）

【取組①】 意向型面整備の実施や普及促進による効率的な下水道使用料の確保

平成30年度の取組実績

- ・平成30年4月に下水道使用料を改正し、使用料の確保に努めました。
- ・意向型面整備として、田中、池端及び伊勢原3・4丁目及びの一部10、23ヘクタールを整備しました。
- ・普及促進活動では、引き続き休日訪問を強化しました。また、新たに135物件、322世帯の接続がありました。

【取組②】 広告看板設置等による新たな収入の確保

平成30年度の取組実績

- ・壁面に広告看板を設置している「し尿希釈投入施設」は、平成28年度から一般会計での収入扱いになったため非該当となっています。

（単位：百万円）

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
①下水道使用料の増収	目標額	3.6	9.1	9.7	21.8	22.8	23.2	24.0	23.0	22.7	16.8	176.7
	実績額	4.1	33.0	50.0 <sup>※</sup>								
②諸収入の増収	目標額	0.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	5.7
	実績額											
計	目標額	3.9	9.7	10.3	22.4	23.4	23.8	24.6	23.6	23.3	17.4	182.4
	実績額	4.1	33.0	50.0								

※特例的収入を含んだ場合の実績額です。